

# 地域密着型サービス事業者 自己評価表

( 認知症対応型共同生活介護事業所 ・ 小規模多機能型居宅介護事業所 )

事業者名	グループホーム 栞	評価実施年月日	平成21年11月20
評価実施構成員氏名			
記録者氏名		記録年月日	平成21年11月20

北海道

項目	取り組みの事実 (実施している内容・実施していない内容)	印 (取組んで きたい項目)	取組んでいきたい内容 (既に取組んでいることも含む)
. 理念に基づく運営			
1. 理念の共有			
1	<p>地域密着型サービスとしての理念</p> <p>地域の中でその人らしく暮らしていくことを支えていくサービスとして、事業所独自の理念を作り上げている。</p>	<p>地域で暮らし続けて来られたその方の権利、尊厳を尊重し、家族や馴染みの人に守られながら、安心、安全、安楽な生活が出来ることを念頭に支援することを理念としています</p>	
2	<p>理念の共有と日々の取り組み</p> <p>管理者と職員は、理念を共有し、理念の実践に向けて日々取り組んでいる。</p>	<p>日々の生活の中で、話し合いをし、その都度対応している</p>	
3	<p>家族や地域への理念の浸透</p> <p>事業所は、利用者が地域の中で暮らし続けることを大切にしたい理念を、家族や地域の人々に理解してもらえよう取り組んでいる。</p>	<p>運営推進委員会又は行事を行う時、地域の方々の来所を折にお話させていただいている</p>	
2. 地域との支えあい			
4	<p>隣近所とのつきあい</p> <p>管理者や職員は、隣近所の人と気軽に声をかけ合ったり、気軽に立ち寄りもらえるような日常的なつきあいができるように努めている。</p>	<p>・外出や散歩の時などに声をかけてくださる事も多々有り、いつでも訪所して下さいとお話をしています</p> <p>・又、近所の方々から野菜を頂いたり、行事の時など子供達も訪所してくれています</p> <p>・隣近所の方に対し、朝、夕の挨拶の中で、折に触れ来訪の言葉かけを行っている</p>	
5	<p>地域とのつきあい</p> <p>事業所は孤立することなく地域の一員として、自治会、老人会、行事等、地域活動に参加し、地元の人々と交流することに努めている。</p>	<p>地域の行事に参加させていただいたり、子供達が来所され絵本を読んでもらったり、歌を聴かせてくれたりしてくれています</p>	
6	<p>事業者の力を活かした地域貢献</p> <p>利用者への支援を基盤に、事業所や職員の状況や力に応じて、地域の高齢者等の暮らしに役立つことがないか話し合い、取り組んでいる。</p>	<p>・地域の方が介護車が必要な事が発生した場合は、介護車の貸し出しなどを準備している</p> <p>・包括支援センターの要請により、旭川周辺の介護事業所等の利用者状況等の情報提供により、施設利用支援の一躍を担っている</p>	

項目	取り組みの事実 (実施している内容・実施していない内容)	印 (取組んで きたい項目)	取組んでいきたい内容 (既に取組んでいることも含む)
3. 理念を実践するための制度の理解と活用			
7	<p>評価の意義の理解と活用</p> <p>運営者、管理者、職員は、自己評価及び外部評価を実施する意義を理解し、評価を活かして具体的な改善に取り組んでいる。</p>	<p>外部評価を受けている事で、再認識をすると共に、ケアに対しての向上を新たに考える事が出来、申し送りや会議の時に課題検討をしている</p>	
8	<p>運営推進会議を活かした取り組み</p> <p>運営推進会議では、利用者やサービスの実際、評価への取り組み状況等について報告や話し合いを行い、そこでの意見をサービス向上に活かしている。</p>	<p>・運営推進会議で出た意見などを検討し、行政等が関わっていただく事案があった場合などは、行政へ報告する時にお話しさせてもらっている</p> <p>・委員の中に外部評価等、リサーチをされている方がおり、貴重な参考意見も頂いており、サービス向上に役立っている</p>	<p>運営推進委員会の内容は、土別市役所、剣淵町役場介護保険課にその都度文書で報告し、助言を頂いているので今後もその対応を継続していきたい</p>
9	<p>市町村との連携</p> <p>事業所は、市町村担当者と運営推進会議以外にも行き来する機会を作り、市町村とともにサービスの質の向上に取り組んでいる。</p>	<p>事あるごとに、町の担当者も来所されますし、事業所も相談に行かせてもらっている</p>	<p>○</p> <p>・今後も運営推進会議の内容を書面で報告する</p> <p>・運営推進委員さんの意見により、事業所前の道路補修を行政が行ってくれた</p>
10	<p>権利擁護に関する制度の理解と活用</p> <p>管理者や職員は、地域権利擁護事業や成年後見制度について学ぶ機会を持ち、個々の必要性を関係者と話し合い、必要な人にはそれらを活用できるよう支援している。</p>	<p>職員に理事から教育をしてもらい、理解してもらっている</p>	<p>○</p> <p>・その都度、新聞報道等の権利擁護事案があり、必要性が有る時は対応していきたい</p>
11	<p>虐待の防止の徹底</p> <p>管理者や職員は、高齢者虐待防止関連法について学ぶ機会を持ち、利用者の自宅や事業所内で虐待が見過ごされることがないように注意を払い、防止に努めている。</p>	<p>・毎日の生活の中で、常に話し合いをしている</p> <p>・例えばアザが有った場合などは、入浴時や排泄介助時に確認することが出来るので、何時から有るか、どのような状態で出来るのか直ぐに話し合いをしている</p>	
4. 理念を実践するための体制			
12	<p>契約に関する説明と納得</p> <p>契約を結んだり解約をする際は、利用者や家族等の不安、疑問点を尋ね、十分な説明を行い理解・納得を図っている。</p>	<p>・質問が有る度に説明しています</p> <p>・入所契約時に重要事項の中で説明し、契約時に時間をかけて、再度利用者や後見人に説明し、納得してもらった後に、署名、捺印をしていただいています</p>	

項目	取り組みの事実 (実施している内容・実施していない内容)	印 (取組んで きたい項目)	取組んでいきたい内容 (既に取組んでいることも含む)
13 運営に関する利用者意見の反映 利用者が意見、不満、苦情を管理者や職員並びに外部者へ表せる機会を設け、それらを運営に反映させている。	・利用者から意見、苦情、不満、要望が有った場合は、直ぐ職員で話し合い、対応しています ・家族にも利用者からの不満等がないか確認させてもらっています ・場合によっては、家族会長等、役員を通じて表現してもらう		
14 家族等への報告 事業所での利用者の暮らしぶりや健康状態、金銭管理、職員の異動等について、家族等に定期的及び個々にあわせた報告をしている。	・利用者に変化が有れば、その都度電話で報告したり、家族が来訪した時に日常の状況を必ず報告しています ・二か月毎に写真入りの手紙を送付しています		家族会等を活用し、利用者の状況写真をプロジェクターで映し見てもらっているのを継続する
15 運営に関する家族等意見の反映 家族等が意見、不満、苦情等を管理者や職員並びに外部者へ表せる機会を設け、それらを運営に反映させている。	・意見箱を設置していると共に、苦情があった場合には職員全員で話し合い、内容によっては理事会にかけてもらい、結果を運営委員会や、家族会、行政へ報告する体制をとっています		
16 運営に関する職員意見の反映 運営者や管理者は、運営に関する職員の意見や提案を聞く機会を設け、反映させている。	毎月のカンファレンス又は、毎日の申し送りの中で行っています		
17 柔軟な対応に向けた勤務調整 利用者や家族の状況の変化、要望に柔軟な対応ができるよう、必要な時間帯に職員を確保する為の話し合いや勤務の調整に努めている。	・必要に応じて、その都度対応しています ・緊急時に対応する事が出来る様に職員の協力と理解を得ている、又は意欲ある勤務体制を取るようになっている		
18 職員の異動等による影響への配慮 運営者は、利用者が馴染みの管理者や職員による支援を受けられるように、異動や離職を必要最小限に抑える努力をし、代わる場合は、利用者へのダメージを防ぐ配慮をしている。	利用者を中心に考えていますし、当事業所の離職者が少ない		

項目	取り組みの事実 (実施している内容・実施していない内容)	印 (取組んで きたい項目)	取組んでいきたい内容 (既に取組んでいることも含む)
5. 人材の育成と支援			
19	<p>職員を育てる取り組み</p> <p>運営者は、管理者や職員を段階に応じて育成するための計画をたて、法人内外の研修を受ける機会の確保や、働きながらトレーニングしていくことを進めている。</p>	<p>市町村が計画した講習会や社協、G.H協議会が計画した研修会の案内などを掲示して希望者の参加を勧めています</p>	
20	<p>同業者との交流を通じた向上</p> <p>運営者は、管理者や職員が地域の同業者と交流する機会を持ち、ネットワーク作りや勉強会、相互訪問等の活動を通じて、サービスの質を向上させていく取り組みをしている。</p>	<p>・交流する機会があれば参加し、研修の要望があれば受け入れの対応をしています</p> <p>・特別養護老人ホームのケアマネや道北ブロック協議会との交流会や会議に参加しています</p>	
21	<p>職員のストレス軽減に向けた取り組み</p> <p>運営者は、管理者や職員のストレスを軽減するための工夫や環境づくりに取り組んでいる。</p>	<p>事業所勤務三年を過ぎた者には、一泊の旅行などのプレゼントをしています</p>	<p>○ 今後も長期勤務者に対して計画をしています</p>
22	<p>向上心をもって働き続けるための取り組み</p> <p>運営者は、管理者や職員個々の努力や実績、勤務状況を把握し、各自が向上心をもって働けるように努めている。</p>	<p>・各自が働きやすい職場であり、やりがいのある職場になるように勤務状況なども本人の希望を優先している</p> <p>・資格を保有した場合に資格手当等を出している</p>	
. 安心と信頼に向けた関係づくりと支援			
1. 相談から利用に至るまでの関係づくりとその対応			
23	<p>初期に築く本人との信頼関係</p> <p>相談から利用に至るまでに本人が困っていること、不安なこと、求めていること等を本人自身からよく聴く機会をつくり、受け止める努力をしている。</p>	<p>・本人が考えている事、求めている事、又は不安な事は何か、金銭面か、環境面か、対人面か、何が課題なのかを見極め、本人を受け入れ、安心して生活が出来る様によく話を聞くようにしている</p> <p>・過去歴を把握し、その人の思いを大切に、介護者の価値観を押し付けずに心がけています</p>	
24	<p>初期に築く家族との信頼関係</p> <p>相談から利用に至るまでに家族等が困っていること、不安なこと、求めていること等をよく聴く機会をつくり、受け止める努力をしている。</p>	<p>家族とは本音の会話を重視し、要望などを出来るだけ受け入れる努力をしています</p>	<p>○ 事実とは違った状況が家族に入り、誤解されている時があった場合などは、直ぐに自宅を訪問し、会ってお話をさせていただきます</p>

項目	取り組みの事実 (実施している内容・実施していない内容)	印 (取組んで きたい項目)	取組んでいきたい内容 (既に取組んでいることも含む)
25 初期対応の見極めと支援 相談を受けたときに、本人と家族が「その時」まず必要としている支援を見極め、他のサービス利用も含めた対応に努めている。	入所希望の御家族との初面接時、急ぐ場合には他施設、他のサービス等を紹介、説明をしている		
26 馴染みながらのサービス利用 本人が安心し、納得した上でサービスを利用するために、サービスをいきなり開始するのではなく、職員や他の利用者、場の雰囲気徐々に馴染めるよう家族等と相談しながら工夫している。	ご本人、御家族に対し、サービス内容の説明をし、同意を得たのちに、細かな部分話し合いながら馴染みの関係を築いていくようにしている		
2. 新たな関係づくりとこれまでの関係継続への支援			
27 本人と共に過ごし支えあう関係 職員は、本人を介護される一方の立場におかず、一緒に過ごしながら喜怒哀楽を共にし、本人から学んだり、支えあう関係を築いている。	出来ない事が出来た時は、一緒に喜びを共有し、共に喜ぶ高齢者を人生の先輩として敬う		
28 本人を共に支えあう家族との関係 職員は、家族を支援される一方の立場におかず、喜怒哀楽を共にし、一緒に本人を支えていく関係を築いている。	日々の生活の様子、出来事、変化など面会の際にお話をしたり、定期的な職員の手紙を送付している		
29 本人と家族のよりよい関係に向けた支援 これまでの本人と家族との関係の理解に努め、よりよい関係が築いていけるように支援している。	施設内での行事等に参加してもらう様に積極的に働きかけ、御家族、親戚等の来所を増やすようにしている		
30 馴染みの人や場との関係継続の支援 本人がこれまで大切にしてきた馴染みの人や場所との関係が途切れないよう、支援に努めている。	入所者間の人間関係を把握してトラブルの無いように見守り、関係作りを支援している		

項目		取り組みの事実 (実施している内容・実施していない内容)	印 (取組んでいきたい項目)	取組んでいきたい内容 (既に取組んでいることも含む)
31	利用者同士の関係の支援 利用者同士の関係を把握し、一人ひとりが孤立せずに利用者同士が関わり合い、支え合えるように努めている。	・利用者同士の関係が良好に保てる様、声かけや見守りをしている ・トラブルが起きそうな場合はさり気なく間に入り、回避できるように努めている ・一人ひとりの得意な事を利用し、一緒に手伝いをお願いしたり、レクリエーションをしたりしている		
32	関係を断ち切らない取り組み サービス利用(契約)が終了しても、継続的な関わりを必要とする利用者や家族には、関係を断ち切らないつきあいを大切にしている。	入院により退所した利用者、御家族に関しては、その後の経過を把握し、相談を受けたり、新たな入所先を紹介したりしている		
その人らしい暮らしを続けるためのケアマネジメント				
1. 一人ひとりの把握				
33	思いや意向の把握 一人ひとりの思いや暮らし方の希望、意向の把握に努めている。困難な場合は、本人本位に検討している。	・ご本人、御家族から直接聞き取るように努めている ・日頃の暮らしぶりや、生活歴を考慮し、本人に望ましいケアを実践できる様努めている		
34	これまでの暮らしの把握 一人ひとりの生活歴や馴染みの暮らし方、生活環境、これまでのサービス利用の経過等の把握に努めている。	・入所時に御家族から生活歴を聴き取るようにしている ・日頃の会話の中から生活歴を探るようにしている		
35	暮らしの現状の把握 一人ひとりの一日の過ごし方、心身状態、有する力等の現状を総合的に把握するように努めている。	チェック表を用いて一日の行動や睡眠状況を把握する様にしている	○	認知症の進行に応じ、定期的にご本人の出来る事、出来ない事を評価していきたい
2. 本人がより良く暮らし続けるための介護計画の作成と見直し				
36	チームでつくる利用者本位の介護計画 本人がより良く暮らすための課題とケアのあり方について、介護支援専門員の適切な監理のもとに、本人、家族、必要な関係者と話し合い、それぞれの意見やアイデアを反映した介護計画を作成している。	・毎月一回、カンファレンスを行い、介護計画を評価している ・更新した際には、御家族の了解のもと実践している		

項目	取り組みの事実 (実施している内容・実施していない内容)	印 (取組んで きたい項目)	取組んでいきたい内容 (既に取組んでいることも含む)
37 現状に即した介護計画の見直し 介護計画の期間に応じて見直しを行うとともに、見直し以前に対応できない変化が生じた場合は、介護支援専門員の適切な監理のもとに、本人、家族、必要な関係者と話し合い、現状に即した新たな計画を作成している。	毎月一回のカンファレンスの中で、介護計画以外の課題有った場合にケアの内容を検討、統一している		
38 個別の記録と実践への反映 日々の様子やケアの実践・結果、気づきや工夫を個別記録に記入し、情報を共有しながら実践や介護計画の見直しに活かしている。	毎日の記録は出来ている	○	ケア内容の結果の記載が無いことが有る為、実践、結果の記載を徹底していきたい
3. 多機能性を活かした柔軟な支援			
39 事業所の多機能性を活かした支援 本人や家族の状況、その時々々の要望に応じて、事業所の多機能性を活かした柔軟な支援をしている。	・車椅子の方が法事やお墓参りに行く際の介護車を活用した送迎支援や、日常生活の中での消耗品や雑貨の購入など ・葬儀に出席される場合、介護車及び車椅子介助支援等を行っいる		
4. 本人がより良く暮らし続けるための地域資源との協働			
40 地域資源との協働 本人の意向や必要性に応じて、民生委員やボランティア、警察、消防、文化・教育機関等と協力しながら支援している。	・小学生や高校生に訪問してもらい、一緒にレクリエーションを行ったりしている ・町のSOSネットワーク期間に参加し協働していく	○	剣淵町SOSネットワークの協力支援体制に参加し、緊急保護措置、保護者及び家族との相互支援を行う
41 他のサービスの活用支援 本人の意向や必要性に応じて、地域の他のケアマネージャーやサービス事業者と話し合い、他のサービスを利用する為の支援をしている。	・今まで対象者(希望者)がいままでして ・ホーム外のケアマネージャーや社協とは連絡を取り合っています	○	今後必要があれば相談していきたい
42 地域包括支援センターとの協働 本人の意向や必要性に応じて、権利擁護や総合的かつ長期的なケアマネジメント等について、地域包括支援センターと協働している。	地域包括支援センターとは連携はとれている	○	平成20年12月11日より地域ケア会議に参加している



項目	取り組みの事実 (実施している内容・実施していない内容)	印 (取組んで きたい項目)	取組んでいきたい内容 (既に取組んでいることも含む)
43 かかりつけ医の受診支援 本人及び家族等の希望を大切にし、納得が得られたかかりつけ医と事業所の関係を築きながら、適切な医療を受けられるように支援している。	・入所前からの掛かり付け医の下を継続して受診している ・可能な限り御家族を同伴してもらおうが、出来ない時には後日受診結果を報告している		
44 認知症の専門医等の受診支援 専門医等認知症に詳しい医師と関係を築きながら、職員が相談したり、利用者が認知症に関する診断や治療を受けられるよう支援している。	定期的に受診し、変化が有れば医師に相談している		
45 看護職との協働 事業所として看護職員を確保している又は、利用者をよく知る看護職員あるいは地域の看護職と気軽に相談しながら、日常の健康管理や医療活用の支援をしている。	常勤の看護師の他に、毎週一回、訪問看護師が入り健康管理、医療活動に努めている	○	事業所職員と訪問看護師との連絡を密にし、利用者の健康管理や医療体制に万全を期したい
46 早期退院に向けた医療機関との協働 利用者が入院した時に安心して過ごせるよう、また、できるだけ早期に退院できるように、病院関係者との情報交換や相談に努めている。あるいは、そうした場合に備えて連携している。	・入院時は、利用者のもとを訪問し、顔を見せると共に、御家族からの情報収集を行っている ・必要時は、御家族の了解の下で医師、看護師からの情報収集を行っている		
47 重度化や終末期に向けた方針の共有 重度化した場合や終末期のあり方について、できるだけ早い段階から本人や家族等ならびにかかりつけ医等と繰り返し話し合い、全員で方針を共有している。	今後予想される状態の変化について御家族にお話をして、その時どう対処するか御家族を含め検討する様に努めている		
48 重度化や終末期に向けたチームでの支援 重度や終末期の利用者が日々をより良く暮らせるために、事業所の「できること・できないこと」を見極め、かかりつけ医とともにチームとしての支援に取り組んでいる。あるいは、今後の変化に備えて検討や準備を行っている。	今後予想される状態の変化の中で、今のホーム、医療状況の中でここまで出来る、これは出来ないとはっきり御家族に伝える様にしている		

項目	取り組みの事実 (実施している内容・実施していない内容)	印 (取組んでいきたい項目)	取組んでいきたい内容 (既に取組んでいることも含む)
<p>49 住替え時の協働によるダメージの防止</p> <p>本人が自宅やグループホームから別の居宅へ移り住む際、家族及び本人に関わるケア関係者間で十分な話し合いや情報交換を行い、住替えによるダメージを防ぐことに努めている。</p>	<p>その都度検討し、実施している</p>	<p>○</p>	<p>自宅に移るまでに対応策を行政、包括支援センター、特別養護老人ホーム、ご家族、ご本人と数回話し合いを行い決定している</p>
<p>. その人らしい暮らしを続けるための日々の支援</p> <p>1. その人らしい暮らしの支援</p> <p>(1) 一人ひとりの尊重</p>			
<p>50 プライバシーの確保の徹底</p> <p>一人ひとりの誇りやプライバシーを損ねるような言葉かけや対応、記録等の個人情報の取扱いをしていない。</p>	<p>・守秘義務に従い例え身内(利用者の他の御家族)であっても個人情報をお話さぬ様に徹底している</p> <p>・基本的人権の思想に基づき、個人の尊厳、誇りを守っています</p> <p>・事業所内の行事参加の写真等の掲示は、ご家族の同意を得て展示している</p>		
<p>51 利用者の希望の表出や自己決定の支援</p> <p>本人が思いや希望を表せるように働きかけたり、わかる力に合わせた説明を行い、自分で決めたり納得しながら暮らせるように支援をしている。</p>	<p>自己決定、自己実現の為に、出来る事、頑張れば出来る事を見極め、最小限の支援に止め、何でも手を出さない</p>	<p>○</p>	<p>・自立支援が自立代行にならない様に、もう一度スタッフ全員が考え、共有する</p> <p>・リスクを見極め、出来る事を取り上げない</p>
<p>52 日々のその人らしい暮らし</p> <p>職員側の決まりや都合を優先するのではなく、一人ひとりのペースを大切に、その日をどのように過ごしたいか、希望にそって支援している。</p>	<p>ある程度の施設の流れはありますが、極力強制せずに、自由に過ごしてもらう様に心がけています</p>		
<p>(2) その人らしい暮らしを続けるための基本的な生活の支援</p>			
<p>53 身だしなみやおしゃれの支援</p> <p>その人らしい身だしなみやおしゃれができるように支援し、理容・美容は本人の望む店に行けるように努めている。</p>	<p>・利用者の散髪は、御家族の希望を聞いたうえで外部の専門家を入れたり、当施設の有資格者により散髪を行っています</p> <p>・朝の着替え、入浴時の衣類の選択は、ご本人の希望を聞き、一緒に選んでいる</p>		
<p>54 食事を楽しむことのできる支援</p> <p>食事が楽しみなものになるよう、一人ひとりの好みや力を活かしながら、利用者職員がその人に合わせて、一緒に準備や食事、片付けをしている。</p>	<p>・食卓テーブル拭き、食器拭き等出来る事は手伝ってもらっています</p> <p>・季節の食材、メニューを取り入れ、四季を感じてもらう</p> <p>・個人の嗜好を把握し、メニュー作りに活かすようにしている</p> <p>・盛り付け、彩りなど視覚的にも気をつけている</p>		

項目		取り組みの事実 (実施している内容・実施していない内容)	印 (取組んで きたい項目)	取組んでいきたい内容 (既に取組んでいることも含む)
55	本人の嗜好の支援 本人が望むお酒、飲み物、おやつ、タバコ等、好みのものを一人ひとりの状況に合わせて日常的に楽しめるよう支援している。	・お酒は好きな人は居るが、日常では出していないが、行事などの時には出している ・おやつ後、一人ひとりに好きな飲み物を聞き出しています		
56	気持ちよい排泄の支援 排泄の失敗やおむつの使用を減らし、一人ひとりの力や排泄のパターン、習慣を活かして気持ちよく排泄できるよう支援している。	プライベートを最大限保持し、最小限の支援に止め、気持ち良く排泄出来る様に支援しています		
57	入浴を楽しむことができる支援 曜日や時間帯を職員の都合で決めてしまわずに、一人ひとりの希望やタイミングに合わせて、入浴を楽しめるように支援している。	・曜日や時間は特に決めていません ・利用者の希望を聞き、入浴の回数などは決めず、その都度対応する様にしています		
58	安眠や休息の支援 一人ひとりの生活習慣やその時々状況に応じて、安心して気持ちよく休息したり眠れるよう支援している。	・昼食後は自室でお昼寝をされる方もいらっしゃいます ・就寝時間は特に決めず、その方のニーズに合わせて対応しています		
(3) その人らしい暮らしを続けるための社会的な生活の支援				
59	役割、楽しみごと、気晴らしの支援 張り合いや喜びのある日々を過ごせるように、一人ひとりの生活歴や力を活かした役割、楽しみごと、気晴らしの支援をしている。	・歌を唄ったり、嚙下体操、ラジオ体操をしたり、入所者同士、介護員とお話をされたりしています ・洗濯物を畳んでくれたり、昼食後の食器拭きなど出来る事は手伝ってもらっています	○	料理の味付けが出来る人には、手伝ってもらえる様に支援して行きたいです
60	お金の所持や使うことの支援 職員は、本人がお金を持つことの大切さを理解しており、一人ひとりの希望や力に応じて、お金を所持したり使えるように支援している。	・一人ひとりの希望が聞き、買い物に行ける方は体調を看ながら外出の機会を作っています ・通院の帰りなどに買い物をしています		

項目		取り組みの事実 (実施している内容・実施していない内容)	印 (取組んでいきたい項目)	取組んでいきたい内容 (既に取組んでいることも含む)
61	日常的な外出支援 事業所の中だけで過ごさずに、一人ひとりのその日の希望にそって、戸外に出かけられるよう支援している。	天候、時間帯などによって散歩、買い物などに付き添っています	○	歩行困難な利用者に対しても、外出の頻度を増やしていきたい
62	普段行けない場所への外出支援 一人ひとりが行ってみたい普段は行けないところに、個別あるいは他の利用者や家族とともに出かけられる機会をつくり、支援している。	年に数回、外食を行ったり、町内の行事などにも参加しています	○	他の施設などとの交流や、合同での行事など、行えればと考えています
63	電話や手紙の支援 家族や大切な人に本人自らが電話をしたり、手紙のやり取りができるように支援をしている。	・二か月に一度、介護員が利用者の御家族に近況報告などの手紙を送付しています ・電話を希望された場合は、取次ぎを行っています	○	今後とも手紙でのお知らせは続けていきたいと思っています
64	家族や馴染みの人の訪問支援 家族、知人、友人等、本人の馴染みの人たちが、いつでも気軽に訪問でき、居心地よく過ごせるよう工夫している。	・施設はいつでも開放されていて、誰でも来所出来る様にしている ・施設の行事などは必ず御家族に連絡し、来所される様をお願いし、近隣の住民の方たちにも案内をしている	○	施設の行事など、他の施設にも案内をして、参加していただける様に働きかけていきたいと思っています
(4)安心と安全を支える支援				
65	身体拘束をしないケアの実践 運営者及び全ての職員が「介護保険法指 定基準における禁止の対象となる具体的な 行為」を正しく理解しており、身体拘束をしな いケアに取り組んでいる。	・現在、身体拘束は無く、言葉使いにも注意をしています ・身体拘束はしない事を合言葉にケア、対応をしています	○	介護員同士で、行動、態度、言葉使いの確認をしていきたい
66	鍵をかけないケアの実践 運営者及び全ての職員が、居室や日中玄 関に鍵をかけることの弊害を理解しており、 鍵をかけないケアに取り組んでいる。	夜間のみ施錠をしていて、日中は常に開放している	○	今後とも同様の対応をしていきます

項目	取り組みの事実 (実施している内容・実施していない内容)	印 (取組んで きたい項目)	取組んでいきたい内容 (既に取組んでいることも含む)
67 利用者の安全確認 職員は、プライバシーに配慮しながら、昼夜通して利用者の所在や様子を把握し、安全に配慮している。	一人ひとり個室であり、所在確認や様子も見れる場所に介護員が居る様にしている		
68 注意の必要な物品の保管・管理 注意の必要な物品を一律になくすのではなく、一人ひとりの状態に応じて、危険を防ぐ取り組みをしている。	<ul style="list-style-type: none"> <li>・薬剤等の管理をしている</li> <li>・食品などで傷みややすい物は、御家族にお話し、保管させていただいています</li> </ul>		
69 事故防止のための取り組み 転倒、窒息、誤薬、行方不明、火災等を防ぐ為の知識を学び、一人ひとりの状態に応じた事故防止に取り組んでいる。	<ul style="list-style-type: none"> <li>・一人ひとりの状態に応じた薬の服用の見守りをしています</li> <li>・徘徊のある人などは常に見守りをしています</li> </ul>		
70 急変や事故発生時の備え 利用者の急変や事故発生時に備え、全ての職員が応急手当や初期対応の訓練を定期的に行っている。	<ul style="list-style-type: none"> <li>・事故発生時は、看護師に連絡を取り、応急手当の指示を受けたり、普段から状況に応じた対応の説明を受けています</li> <li>・年に二回、消防訓練を行い、救急対応の訓練をしています</li> </ul>		
71 災害対策 火災や地震、水害等の災害時に、昼夜を問わず利用者が避難できる方法を身につけ、日ごろより地域の人々の協力を得られるよう働きかけている。	<ul style="list-style-type: none"> <li>・年に二回は施設での火災訓練を実施しています</li> <li>・施設の行事など、地域の方々に声をかけ、参加していただいています</li> <li>・年に1回消防職員、イハラ消防設備、英和システムの支援を受けて消防訓練を実施、その結果を関係機関に報告している</li> </ul>		<ul style="list-style-type: none"> <li>・スプリンクラーを設置している(停電時の対応についても訓練を実施している)</li> <li>・防火管理者資格取得も実施している</li> </ul>
72 リスク対応に関する家族との話し合い 一人ひとりに起こり得るリスクについて家族等に説明し、抑圧感のない暮らしを大切にしたい対応策を話し合っている。	危険性の有る行動や、状況などはその都度、御家族に報告や説明をし、同意を得ている		

項目	取り組みの事実 (実施している内容・実施していない内容)	印 (取組んで きたい項目)	取組んでいきたい内容 (既に取組んでいることも含む)
(5) その人らしい暮らしを続けるための健康面の支援			
73	<p>体調変化の早期発見と対応</p> <p>一人ひとりの体調の変化や異変の発見に努め、気づいた際には速やかに情報を共有し、対応に結び付けている。</p>	<ul style="list-style-type: none"> <li>・毎日、バイタルチェックをしています</li> <li>・一人ひとりの体調の変化も申し送りで報告し、情報を共有しています</li> <li>・体調変化時は、御家族にも報告をしています</li> </ul>	
74	<p>服薬支援</p> <p>職員は、一人ひとりが使用している薬の目的や副作用、用法や用量について理解しており、服薬の支援と症状の変化の確認に努めている。</p>	<ul style="list-style-type: none"> <li>・薬の服用の際には必ず見守りをしています</li> <li>・現在使用されている薬を何時でも確認できる様になっている</li> </ul>	
75	<p>便秘の予防と対応</p> <p>職員は、便秘の原因や及ぼす影響を理解し、予防と対応のための飲食物の工夫や身体を動かす働きかけに取り組んでいる。</p>	<p>一人ひとりの排便状況を記録に録り、水分摂取や軽い運動、飲食物の工夫をしています</p>	
76	<p>口腔内の清潔保持</p> <p>口の中の汚れやおいが生じないよう、毎食後、一人ひとりの口腔状態や力に応じた支援をしている。</p>	<p>食後の口腔ケアの声かけ、見守り、介助、義歯の清潔保持に努めています</p>	
77	<p>栄養摂取や水分確保の支援</p> <p>食べる量や栄養バランス、水分量が一日を通じて確保できるよう、一人ひとりの状態や力、習慣に応じた支援をしている。</p>	<ul style="list-style-type: none"> <li>・一人ひとりの状況に合わせて水分補給をしています</li> <li>・食べる量も人により調整し、摂取していただいています</li> </ul>	
78	<p>感染症予防</p> <p>感染症に対する予防や対応の取り決めがあり、実行している(インフルエンザ、疥癬、肝炎、MRSA、ノロウイルス等)</p>	<ul style="list-style-type: none"> <li>・利用者、来客など皆さんが共有するタオルなどは除菌しています</li> <li>・通院や外出の後にはうがい、手洗いは必ず行っています</li> <li>・職員に体調不良の事案が発生した場合は、直ちに報告するように指示し、出勤しないように徹底している</li> </ul>	<p>○</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>・玄関に洗面台、来客用マスク、除菌スプレーを設置</li> <li>・職員に50枚ずつのマスクを配布し、不足した場合は申告要請してもらう</li> </ul>

項目		取り組みの事実 (実施している内容・実施していない内容)	印 (取組んでいきたい項目)	取組んでいきたい内容 (既に取組んでいることも含む)
79	<p>食材の管理</p> <p>食中毒の予防のために、生活の場としての台所、調理用具等の衛生管理を行い、新鮮で安全な食材の使用と管理に努めている。</p>	<p>手洗いの徹底、おしぼりなどの除菌、洗浄の徹底に心がけ、賞味期限の確認、又は保存方法に気を付ける</p>		
<p>2. その人らしい暮らしを支える生活環境づくり</p> <p>(1)居心地のよい環境づくり</p>				
80	<p>安心して出入りできる玄関まわりの工夫</p> <p>利用者や家族、近隣の人等にとって親しみやすく、安心して出入りができるように、玄関や建物周囲の工夫をしている。</p>	<p>・誰でも自由に出入りができています</p> <p>・夏季には花壇を作ったり、家庭菜園したりしています</p>		
81	<p>居心地のよい共用空間づくり</p> <p>共用の空間(玄関、廊下、居間、台所、食堂、浴室、トイレ等)は、利用者にとって不快な音や光がないように配慮し、生活感や季節感を採り入れて、居心地よく過ごせるような工夫をしている。</p>	<p>・廊下等利用者様の目につく場所に行事などの写真を貼っています</p> <p>・玄関ホールは椅子を置き休んだり、座って靴の着脱が出来るようになっていきます</p> <p>・居間は季節に応じて、お正月、雛祭り、七夕、クリスマスなど季節感が有るように飾り付けをしています</p>		
82	<p>共用空間における一人ひとりの居場所づくり</p> <p>共用空間の中には、一人になれたり、気の合った利用者同士で思い思いに過ごせるような居場所の工夫をしている。</p>	<p>居間兼食堂にはソファーなどの椅子を置き、利用者同士がお話をされ、馴染みの関係作りに役立っています</p>		
83	<p>居心地よく過ごせる居室の配慮</p> <p>居室あるいは泊まりの部屋は、本人や家族と相談しながら、使いなれたものや好みのものを活かして、本人が居心地よく過ごせるような工夫をしている。</p>	<p>各個人の居室に本人の使い慣れた品を置き、居心地の良い空間作りをしています</p>		
84	<p>換気・空調の配慮</p> <p>気になるにおいや空気の様子がないよう換気に努め、温度調節は、外気温と大きな差がないように配慮し、利用者の状況に応じてこまめに行っている。</p>	<p>・臭いが気になる場合は消臭スプレー、換気を適宜しています</p> <p>・季節に応じ、過ごしやすい室温、湿度(加湿器、濡れタオルを干し)に調整しています</p>		

項目	取り組みの事実 (実施している内容 ・ 実施していない内容)	印 (取組んで きたい項目)	取組んでいきたい内容 (既に取組んでいることも含む)
(2)本人の力の発揮と安全を支える環境づくり			
85	<p>身体機能を活かした安全な環境づくり</p> <p>建物内部は一人ひとりの身体機能を活かして、安全かつできるだけ自立した生活が送れるように工夫している。</p>	<p>居室での自立が出来る様、洗面、着替え、寝具の整頓など出来る事はしてもらっています</p>	
86	<p>わかる力を活かした環境づくり</p> <p>一人ひとりのわかる力を活かして、混乱や失敗を防ぎ、自立して暮らせるように工夫している。</p>	<p>介護員と一緒にタンス、押入れなど整理整頓する事も有りますが、なるべく本人にしてください、見守りだけをするもあります</p>	
87	<p>建物の外回りや空間の活用</p> <p>建物の外回りやベランダを利用者が楽しんだり、活動できるように活かしている。</p>	<p>施設の畑にトマト、キュウリ、ナスなど沢山出来るので、介護員と一緒に収穫に行っています</p>	<p>○ 出来る人達と一緒に野菜、果物の皮むきを手伝ってもらう様にしていきたいです</p>



. サービスの成果に関する項目	
項目	取り組みの成果
88	職員は、利用者の思いや願い、暮らし方の意向を掴んでいる ほぼ全ての利用者 利用者の2 / 3くらい 利用者の1 / 3くらい ほとんど掴んでいない ・利用者の生活歴や趣味などに配慮している
89	利用者職員が、一緒にゆったりと過ごす場面がある 毎日ある 数日に1回程度ある たまにある ほとんどない ・食事の時間、おやつの時間など、長く時間を取るようになっている
90	利用者は、一人ひとりのペースで暮らしている ほぼ全ての利用者 利用者の2 / 3くらい 利用者の1 / 3くらい ほとんどいない ・自室で過ごしたり、ホールでテレビを観たりマイペースで過ごしています
91	利用者は、職員が支援することで生き生きした表情や姿が見られている ほぼ全ての利用者 利用者の2 / 3くらい 利用者の1 / 3くらい ほとんどいない ・皆さん大きな声で歌を唄ったり、ニコニコ笑ったり、お手伝いも積極的にして下さいます
92	利用者は、戸外の行きたいところへ出かけている ほぼ全ての利用者 利用者の2 / 3くらい 利用者の1 / 3くらい ほとんどいない ・通院の帰りなどには行くが、その他で自由に出掛けることはありません
93	利用者は、健康管理や医療面、安全面で不安なく過ごせている ほぼ全ての利用者 利用者の2 / 3くらい 利用者の1 / 3くらい ほとんどいない ・毎週訪問看護師が来所する様になっていますし、常勤で看護師もいます
94	利用者は、その時々々の状況や要望に応じた柔軟な支援により、安心して暮らせている ほぼ全ての利用者 利用者の2 / 3くらい 利用者の1 / 3くらい ほとんどいない ・利用者の要望には、出来るだけ応えているが、時には応えられない場合も有るので、その時は理解してもらっています
95	職員は、家族が困っていること、不安なこと、求めていることをよく聴いており、信頼関係ができています ほぼ全ての家族 家族の2 / 3くらい 家族の1 / 3くらい ほとんどできていない ・一部の御家族にはこちらの話に耳を傾けてくれていなく、自分本位ではあるが、職員もそれに応えようと努力はしている
96	通いの場やグループホームに馴染みの人や地域の人々が訪ねて来ている ほぼ毎日のように 数日に1回程度 たまに ほとんどない ・高校生とか、絵本の館の子供達に来て、絵本を読んでくださったりしています

. サービスの成果に関する項目		取り組みの成果	
項目		取り組みの成果	
97	運営推進会議を通して、地域住民や地元の関係者とのつながりが拡がったり深まり、事業所の理解者や応援者が増えている	大いに増えている 少しずつ増えている あまり増えていない 全くいない	・毎月の運営推進会議で色々皆さんに理解してもらっています ・色々な行事でボランティアで参加して下さっています
98	職員は、生き生きと働いている	ほぼ全ての職員が 職員の2/3くらいが 職員の1/3くらいが ほとんどいない	・疲れが溜まったりする場合がある
99	職員から見て、利用者はサービスにおおむね満足していると思う	ほぼ全ての利用者が 利用者の2/3くらいが 利用者の1/3くらいが ほとんどいない	・ほぼ利用者は、満足していると思う
100	職員から見て、利用者の家族等はサービスにおおむね満足していると思う	ほぼ全ての家族等が 家族等の2/3くらいが 家族等の1/3くらいが ほとんどいない	・多くの御家族の方々には良くお話を理解していただけていると思います

【特に力を入れている点・アピールしたい点】

(日々の実践の中で事業所として力を入れて取り組んでいる点・アピールしたい点等を自由記載)  
 ・利用者にはゆったりとした生活をしていただく為に、職員もゆったりとした仕事をする